

# 令和元年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 2年 3月24日

※下記の3.～5.の内容は、本園保育教諭(18名)の  
「自己評価」をまとめたものです。(評価欄の数字は平均点)

学校法人岡田学園  
 エルアン幼稚園  
 相知エルアンこども園

## 1. 本園の教育目標と計画

健やか、自立、思いやりを基調に、安全・安心と元気いっぱいの教育・保育を基本とし、就学前教育の充実と個性づくりを積極的に支援することを目標としている。  
 教育計画は、①元気なあいさつ ②めざまし遊び、めばえ遊び ③素足教育・運動遊び ④英語遊び に取り組むことを主体としている。

## 2. 本年度の重点取り組み事項(テーマ)

「やる気と力を合わせ、共に育ちあう」

## 3. 評価項目及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
①	〔保育の計画性〕 教育目標等の理解、課程の編成など	3.2 C	実生活を意識した計画に踏み込み不足が見られた 教育目標を踏まえた具体的な取り組みが求められる
②	〔保育の在り方・対応〕 健康・安全への配慮、指導とかかわりなど	3.6 B	職員間での情報共有を心がけている(なかよし園舎) 個々の対応ができるようになってきた(にこにこ園舎)
③	〔保護者対応等〕 情報の発信(見える化)、マナーなど	3.7 B	「はなまる連絡帳」の活用で急ぎの対応ができてきた 個別対応(保育の見える化)を高める努力が必要
④	〔地域とのかかわり〕 地域とのかかわり、小学校との連携など	3.1 C	地域との関わりについて研究の余地あり 保育者と教諭、園児と児童の交流を増やしていく必要がある
⑤	〔テーマの設定〕 「やる気と力を合わせ、共に育ちあう」	3.6 B	お互いの改善点など意見を交わす場面増えてもいい(職員) 園児と職員、楽しみながら保育に取り組むことが大切

[評価] A…十分に成果があった(5点) B…成果があった(4点) C…少し成果があった(3点) D…成果がなかった(2点)

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
3.2点 C	多忙になると子ども目線での保育に欠ける場面があった 早め早めの対応、情報共有を心がけたい 保育者間の個人差(力量)を埋めるための協力体制をとってきたが、思うような成果につながらなかった 安全・安心を心がけたが、危険を気にするあまり、活動の制限や禁止の言葉が多かった(にこにこ園舎)

[評価] A…十分に成果があった(5点) B…成果があった(4点) C…少し成果があった(3点) D…成果がなかった(2点)

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み内容(方法)
① 園の特色の充実	サイバードリームを使った英語遊び 素話の充実 恵まれた周辺環境を生かした外遊びを工夫し積極的に取り入れる
② 保育の見える化	個々の成長を保護者と共有していく取り組み(レター、こころの充実、玄関対応…) 報・連・相を徹底して職員間の情報共有を密にして共に育ちあう
③ 外遊び・自然との関わり 環境の構成	恵まれた周辺の地域環境を生かした外遊びを工夫し積極的に取り組む 安全に配慮した自由遊びの時間の充実(玩具類の管理、職員配置など)

## 6. 学校関係者評価(保護者会役員のご意見の要旨)

- ・「こころ」通信や写真配布、玄関対応で子どもの園での様子を知ることができて安心感がある
- ・教育目標に向かって意欲的に取り組んであるが、特色づくりにも期待している
- ・安全面、教育面とも不安や不満はない
- ・先生方の負担軽減になるよう行事の見直しも必要
- ・「はなまる連絡帳」は便利で効果的
- ・室内の環境整備や行事の盛り上げは感動的
- ・担任だけでなくどの子のこともでも共通理解してある
- ・英語遊び、運動遊びなど体育面の充実を
- ・自己評価のランクアップ(C→Bへ)を期待する

以上